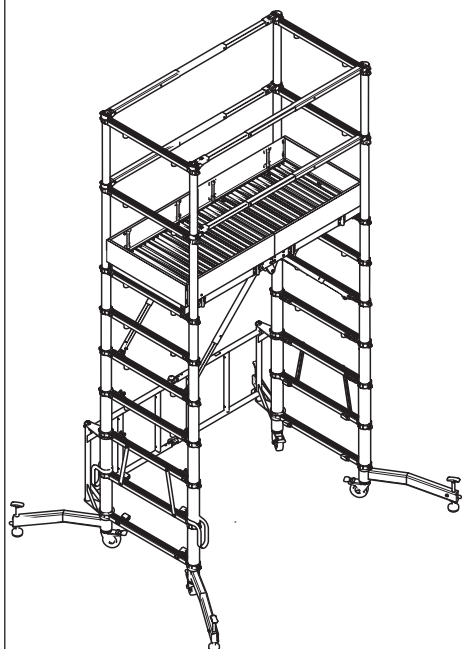


テレスコピックタワー

取扱・組立説明書



このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱・組立説明書は、本製品の使い方と使用上の注意事項、製品の組立について記載しています。ご使用前には必ず、この取扱・組立説明書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう、内容にしたがって正しくお使いください。

また、お読みになった後も、この取扱・組立説明書をすぐに取り出せる所へ大切に保存してください。



- タワーは、正しく使われていないと転倒や転落の危険があります。お使いになるときは、タワーの安定した状態を確認してください。
- 作業時は作業帽（ヘルメット）を着用してください。
- この取扱・組立説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

もくじ

■取扱説明

表示マークについて	1
製品仕様	2
各部のなまえ	3
ラベルのなまえ	4
安全作業のために、必ず守っていただきたいこと	5~8
ご使用前の点検	9~10
使用後のお手入れと保管のしかた	26
「故障かな？」と思ったら(不調診断)	26

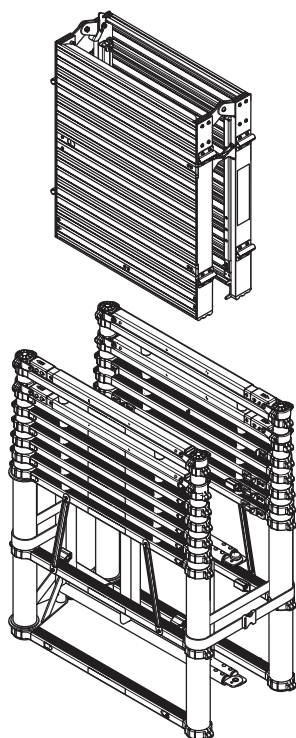
■組立説明

本体および付属品	11
アウトリガー、キャスターの取付け	12~13
製品の組立詳細	14~25

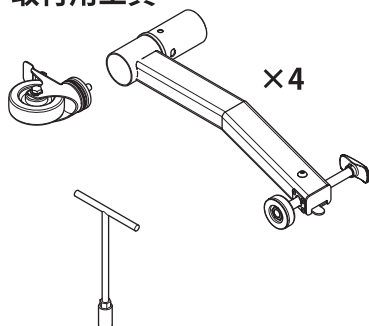
組立説明

本体および付属品

- ① 折りたたまれた開閉式作業床と
タワー本体



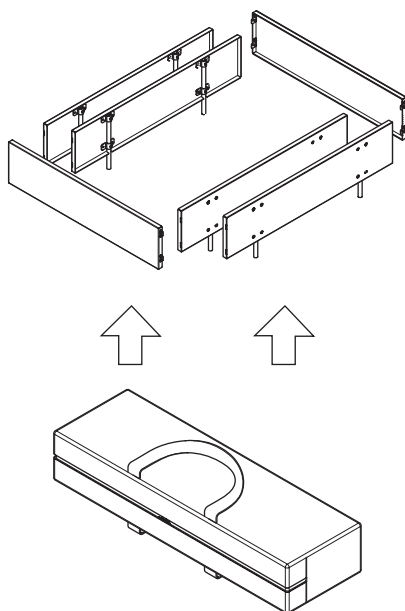
- ② アウトリガー×4本と
キャスター×4ヶ
取付用工具



- ③ 取扱・組立説明書



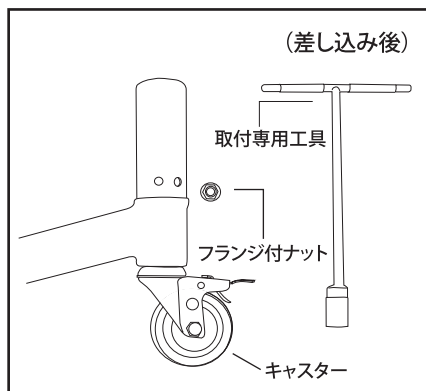
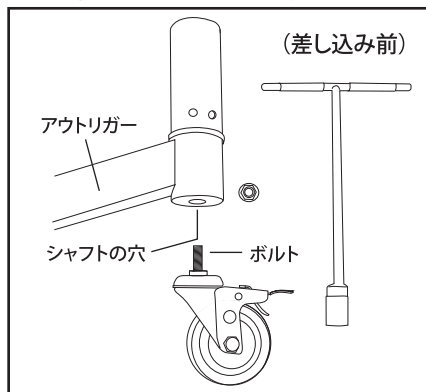
- ④ キャリングケース
(巾木A×4ヶと巾木B×2ヶ)



アウトリガー、キャストターの取付け

アウトリガーにキャストターを取付ける

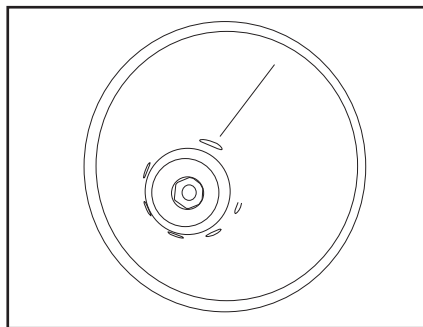
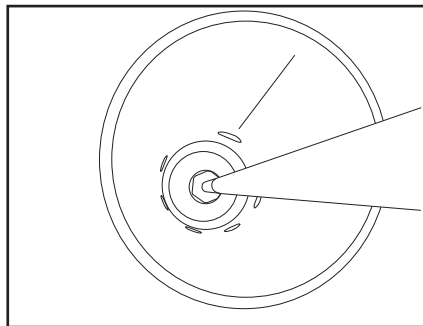
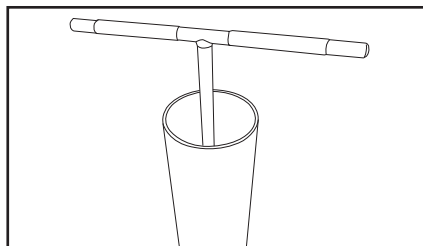
- 1、アウトリガー、キャストター、フランジ付ナット、取付専用工具を準備する。
- 2、アウトリガーのシャフトの穴にキャストターの土台のボルトを差し込む。



- 3、取付専用工具の先端の穴にフランジ付ナットをセットする。



- 4、アウトリガーのシャフト上部から、フランジナットを取付た専用工具 (3番の状態) をナットが落ちないように慎重に挿入し、ナットをキャストター土台のボルトに締め付ける。(イラストは立てた状態ですが、実際は少し寝かせたほうが取付が容易になります。)

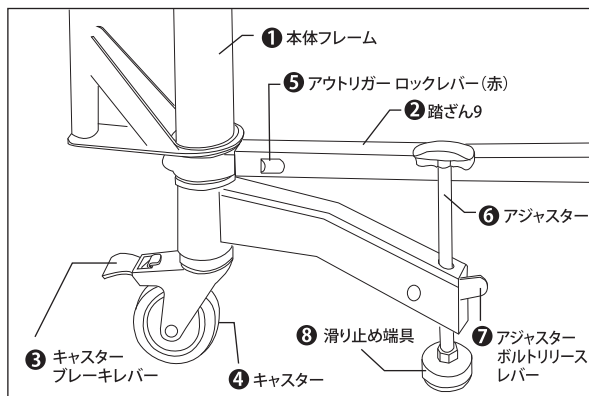
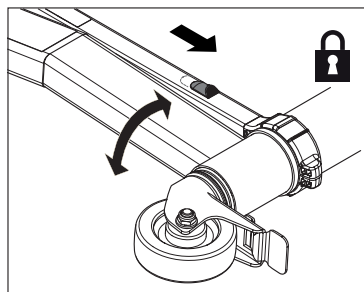
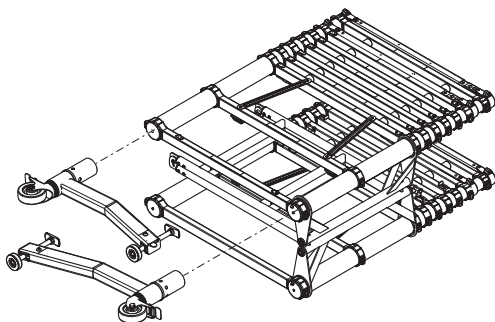
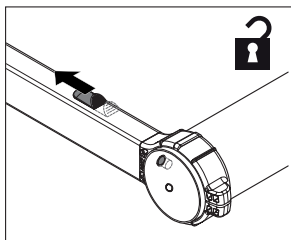


- 5、残りの3ヶも同様に組み立ててください。

アウトリガー、キャスターの取付け

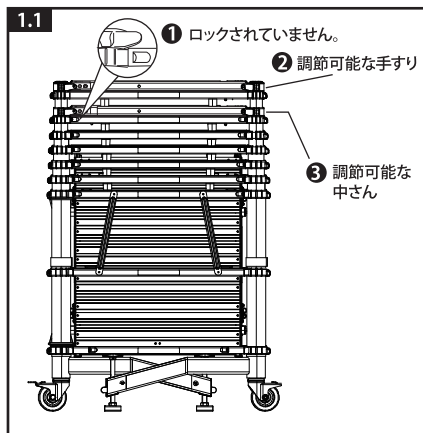
キャスター/アウトリガーの取付方法

- 1、床や台の上に折りたたまれた本体を慎重に寝かせた状態で置いてください。
- 2、キャスター/アウトリガーを手に取り、本体の取付位置(支柱の最先端)にキャスターのシャフトを差し込みます。
- 3、踏ざん9のアウトリガーロックレバー(赤)を内側へスライドさせ保持した状態で、キャスターのシャフトを押し込んでください。押し込んだ後、アウトリガーのアジャスターが踏ざん9の下にくるまで回転させてください。
- 4、レバーを離し、アウトリガーがロックする位置(クリック音が聞こえる)まで回転させてください。
- 5、アジャスターボルトリリースレバーを押し下げながら、アジャスターを持ち上げます。アジャスターが持ち上がったら、レバーを離します。
- 6、他の三カ所のキャスター/アウトリガーについてもこの2～5の手順を繰り返します。四カ所に取り付けたら、キャスターブレーキレバーを押し下げてロックしてください。ロックがされていることを確認できたら本体を起こしてください。

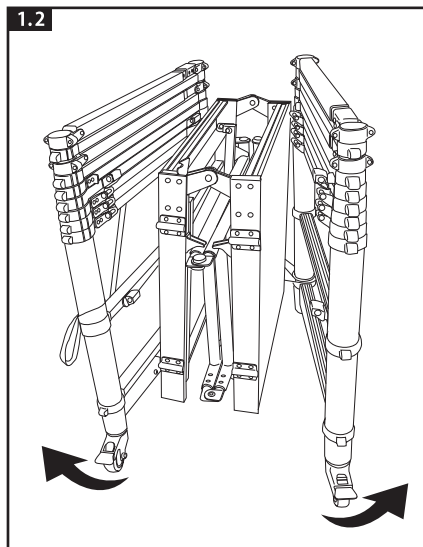


本体の組立

図1.1のように本体にキャスターが装着され、完全に折りたたまれた状態から、次の手順に従って組立てください。



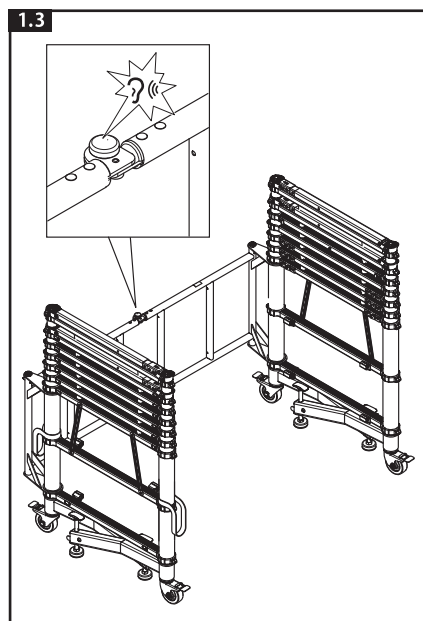
- 1、キャスターのロックを解除してください。
(車輪が自由に回転します。)
- 2、2本の収納ベルトのロックを外します。
- 3、ゲート(後ろ側)の黄色い枠を保持しながら、図1.2のように前面側からサイドフレームを左右に広げてください。



4、折りたたまれて収納されている開閉式作業床を本体から取り出してください。

5、サイドフレームを平行になるように開くと、ゲートがまっすぐになりクリック音がしてゲートロックボタンがロックされます。ゲートが確実にロックされていることを確認してください。(図1.3を参照)

6、ゲートに対してそれぞれのサイドフレームを90度にセッティングした後、四力所のキャスターをロックします。



手すりの組立

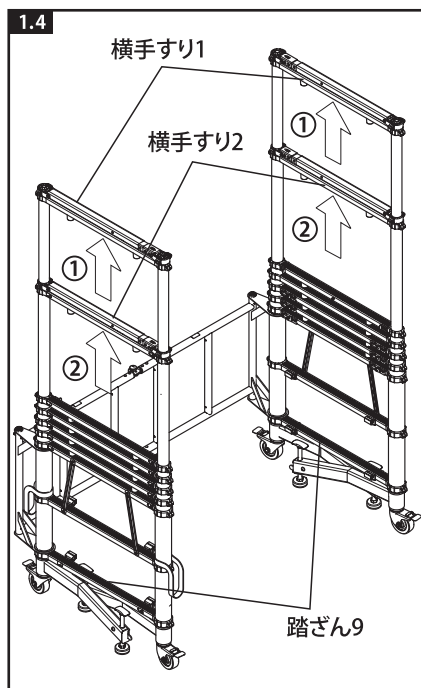
横手すり1・2の組立

1. 踏ざん9に片足を置き、横手すり1の両端を持ち、所定の位置にロックされるまで横手すり1を持ち上げます。ロックするとクリック音が聞こえます。音が聞こえたら、横手すり2の伸縮ロック(黄)は、自動的にロック位置(外側方向)に移動しています。
2. 踏ざん9に片足を置き、横手すり2の両端を持ち、所定の位置にロックされるまで横手すり2を持ち上げます。ロックするとクリック音が聞こえます。音が聞こえたら、踏ざん3の伸縮ロック(黄)は自動的にロック位置(外側方向)に移動しています。
3. 反対側のサイドフレームでも、上記1及び2の手順を繰り返してください。

(図1.4を参照)

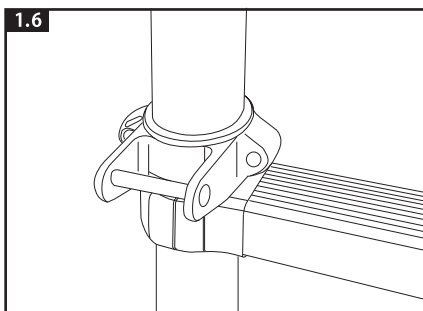
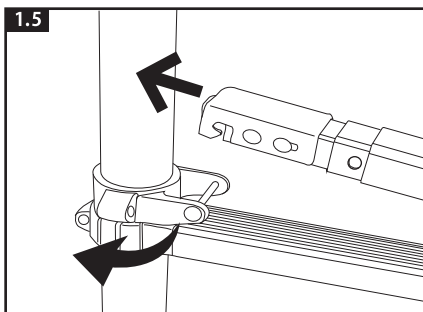
△ 注意

左右のサイドフレームで、手すり(伸縮、可動)の下部には横手すり(固定)があり、必ずペアになっています。



手すりの取付け

- 1、手すりのロック金具（黄色いカバー）をつまむように持ち、手すりの端に向けてロック金具を押し込みながら上へ持ち上げ、回転式アンカーから外してください。（図1.5を参照）
- 2、回転式アンカーを枠の内側の方向へ90度回転させてください。（図1.6を参照）

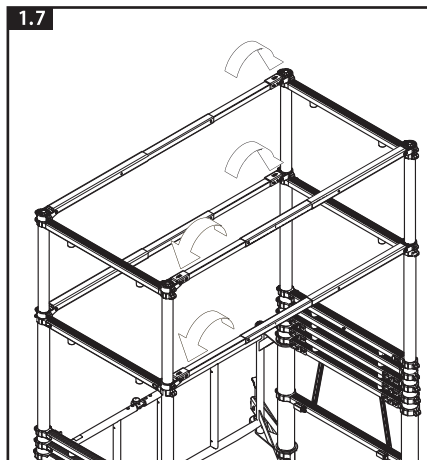


- 3、手順1で回転式アンカーから外した手すりを反対側のフレームに向かって回転させます。
- 4、2回クリック音がするまで手すりを伸ばします。伸ばしたら手すりを垂れ下がるようにして、そのままいったん保持してください。

⚠ 注意

手すりを伸ばすと、手すりの側面から黄色のロックピンが2カ所確認できます。

- 5、他の手すり、中さんも手順1～4を繰り返してください。
- 6、手順4の手すりの端の黄色いカバーを押し込むようにして反対側のフレームの回転アンカーに取り付けると、ロックされます。
- 7、他の3本の手すり、中さんについても、手順6を行ってください。〈図1.7〉の状態になります。
- 8、本体を折りたたむ（格納する）まで、この状態を保ってください。

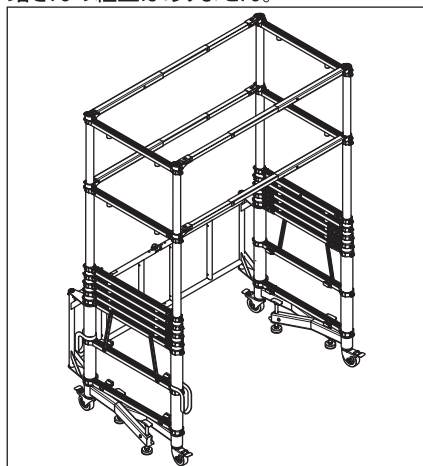


踏ざんの組立

ご使用の作業床高さに応じて踏ざんを組立てください。数字の小さい踏ざんから順に組立を行います。

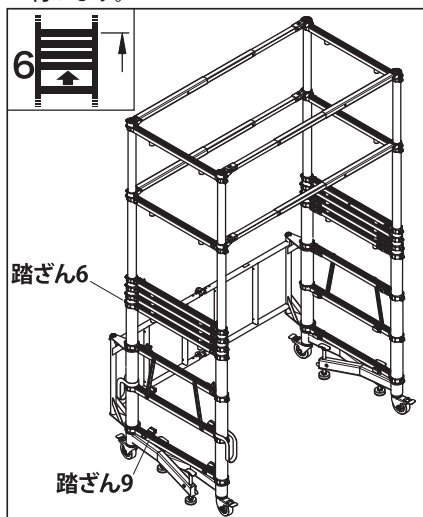
作業床高さ約1.10m

踏ざんの組立はありません。



作業床高さ約1.30m

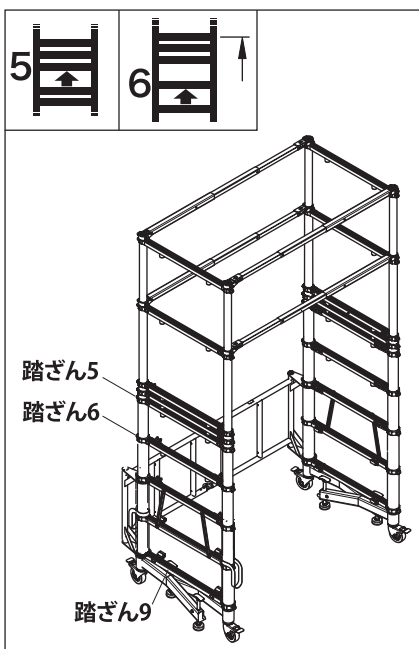
1、踏ざん9に足を置き、踏ざん6を持ち上げます。その下の踏ざんがロックされます。反対側のサイドフレームでも同じ手順を行います。



作業床高さ約1.55m

1、踏ざん9に足を置き、踏ざん5を持ち上げます。その下の踏ざんがロックされます。反対側のサイドフレームでも同じ手順を行います。

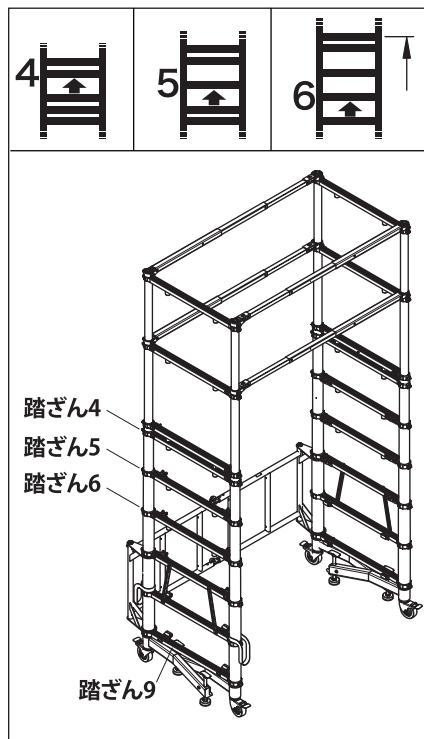
2、踏ざん6で手順1を繰り返します。



作業床高さ約1.75m

1、踏ざん9に足を置き、踏ざん4を持ち上げます。その下の踏ざんがロックされます。反対側のサイドフレームでも同じ手順を行います。

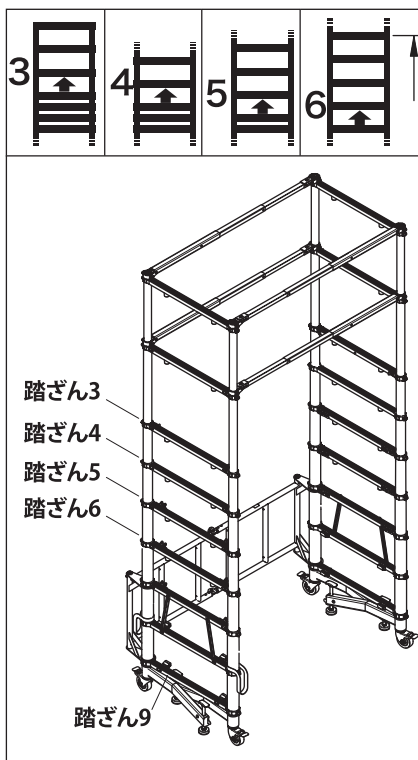
2、踏ざん5→6の順で手順1を繰り返します。



作業床高さ約2.00m

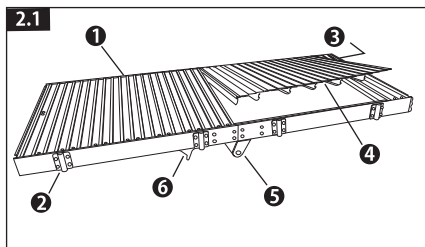
1、踏ざん9に足を置き、踏ざん3を持ち上げます。その下の踏ざんがロックされます。反対側のサイドフレームでも同じ手順を行います。

2、踏ざん4→5→6の順で手順1を繰り返します。



開閉式作業床の取付け

- 1、折りたたまれた開閉式作業床を開いてください。まっすぐな状態になれば自動的にロックされますので、ロックされていることを確認してください。(図2.1を参照)



- ① 開閉式作業床を持ち上げる時はサイドフレーム(側板)を持つこと
② 巾木取付ブラケット ③ 設置位置誘導ブラケット
④ 開閉式扉 ⑤ ヒンジ ⑥ 解除レバー

- 2、図2.1と図2.2に示すように、開閉式作業床の裏側の四隅にブラケットが装着されていることを確認してください。
また踏ざん3内側に開閉式作業床を正しい位置に取付するためのブラケットガイドがついていることも確認してください。

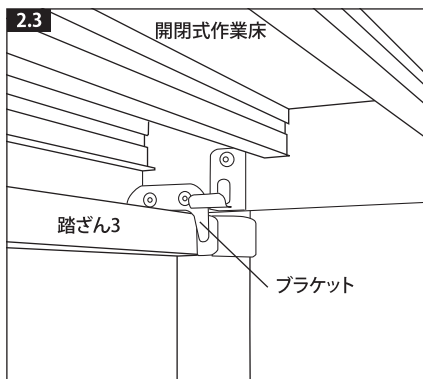
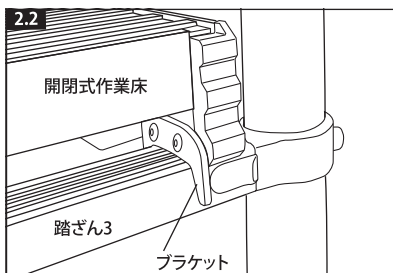
(図2.3を参照)

- ⚠ 警告** 開閉式作業床を持ち上げるときは、必ずサイドフレーム(側板)を持ってください。



強制

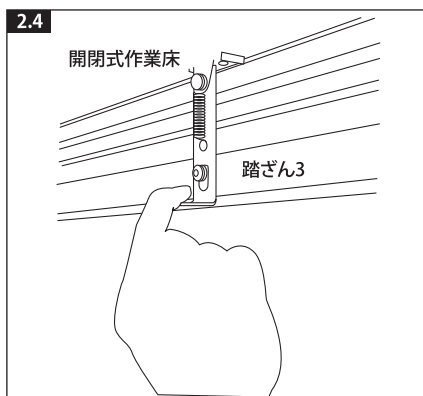
作業床の一部が開閉式になっているため、作業床の下側(底)から手を添えて持ち上げると開閉式扉が開いてしまうことがあり危険です。



開閉作業床は常に踏ざん3に取付けてください。

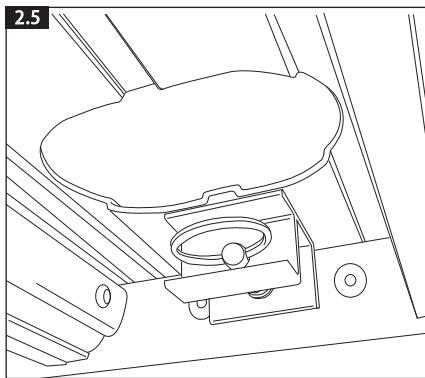
- 3、2人以上で開閉式作業床の四隅のブラケットを踏ざん3のブラケットガイド内側へ添うようにして開閉式作業床を設置してください。

- 4、作業床の裏側左右のサイドフレームにバネ式の固定金具が装着されています。タブを引き固定金具の穴を踏ざん3のピンに通して、踏ざん3に開閉式作業床を固定してください。(図2.4を参照)



作業床の開閉方法

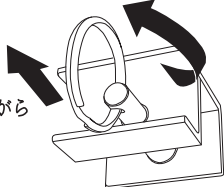
作業床の開閉布枠の穴位置の裏側部分に
抜け止めが装着されています。穴が開いて
いることにより、開閉布枠の上からでもロッ
ク操作が可能です。ロック操作方法につきま
しては、図を参照してください。



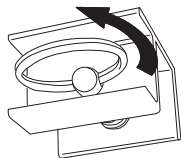
ロックの解除方法

②90度まわす

①手前に引きながら



ロックの方法



①回転させる
②ばねの力で引っ込む

筋交い材の取付け

筋交い材は開閉式作業床の下部（底側）四力所に収納された状態で装着されています。（図3.1を参照）

⚠ 警告 開閉式作業床の高さが約1.55メートル以上の場合、必ず筋交いをブラケットに装着してください。

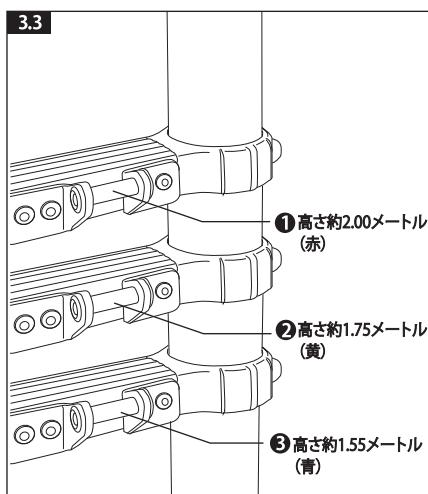
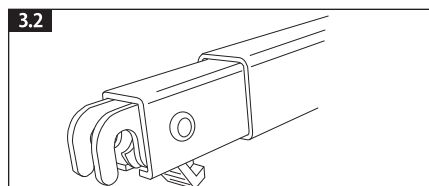
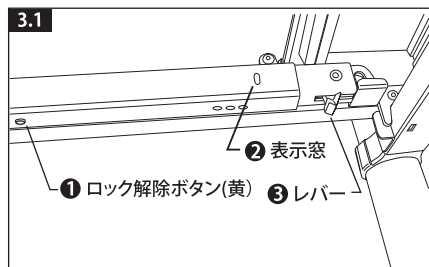


強制

筋交い材の解除ボタンを押しながら、逆の端側の黄色のレバーを引くと収納されている筋交い材（黄色レバー側）が外れます。

- 筋交い材は、使用する作業床の高さごとに必要な長さが異なります。
- 高さに合わせた長さに伸縮調整が可能になっています。
- 筋交い材の先端は自動ロック式の金具になっています。（図3.2を参照）

作業床の高さごとに3段階の長さに調整します。またその高さごとの適正な長さに調節されているかを筋交い材の表示窓の色で確認することができます。本体側の踏ざんにも色分けされたブラケットが装着されています。（図3.3を参照）



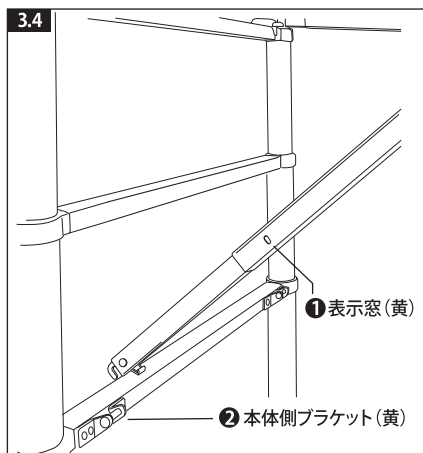
- ①作業床高さ約2.00メートル：
本体側ブラケット、筋交い材表示窓の色は赤です。
- ②作業床高さ約1.75メートル：
本体側ブラケット、筋交い材表示窓の色は黄です。
- ③作業床高さ約1.55メートル：
本体側ブラケット、筋交い材表示窓の色は青です。

使用高さに作業床が設置されたら、筋交い材の表示窓でその高さに設定されている色が確認されるまで、筋交い材の長さを伸縮調整します。長さを延長するとクリック音とともにロックボタン（小さな丸い黄色い突起）が現れ、そのたびにそれ以上伸びないようにロックされます。必ず本体側のブラケットの色と表示窓の色が同じになるように、適切な長さになるまで調整してください。（一度ロックされた長さから伸ばしたり、縮めたりする場合はロックボタンを押しながら伸縮させてください。）

●図3.4が表す例：

作業床高さ約1.75メートルの場合

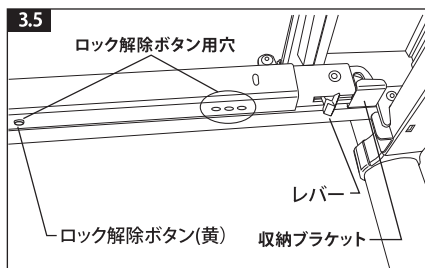
高さ約1.75メートルの場合、筋交い材の表示窓と本体側ブラケットは黄色になっています。常に筋交い材の表示窓と本体側ブラケットは同色になります。しっかりと黄色のブラケットに筋交い材の先端のロック金具を押し込み、ロックしていることを確認してください。他の筋交い材についてもこの手順を繰り返してください。



●筋交い材の取外し

本体側ブラケットから筋交い材を取り外すには、筋交い材の先端のレバーを押しながら、本体側ブラケットから持ち上げます。筋交い材の下側のロック解除ボタン(丸い小さな黄色の突起)を押しながら筋交い材を収納します。この作業は、筋交い材がどのくらい伸ばされているによって繰り返す必要があります。各穴からロック解除ボタンを押し、筋交い材を最小まで縮めます。(この時ロック解除ボタンは穴から突き出ていません)その状態で筋交いが水平になるように持ちあげた後ロックされるまで筋交い材を伸ばし、収納ブラケットにレバー部分を載せます。(筋交い材の取付けと逆手順になります。)他の筋交い材についてもこの手順を繰り返してください。

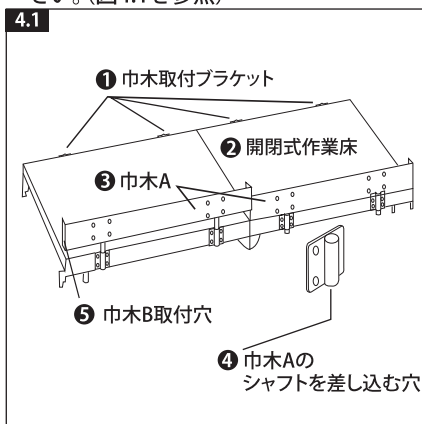
(図3.5を参照)



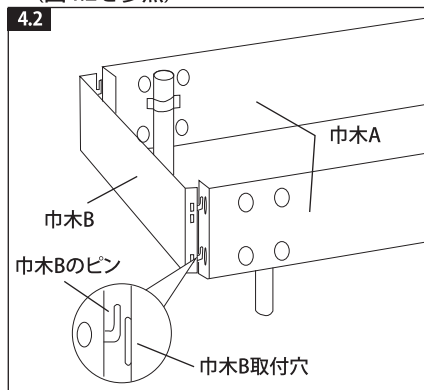
巾木の取付けとアウトリガーの展開

巾木の取付け

- 1、キャリングケースから巾木を取り出してください。巾木Aのシャフトを開閉式作業床のサイドフレームの差し込み穴に差し込みます。この時に巾木Aの穴（巾木B取付用）位置が外側になるように注意してください。（図4.1を参照）



- 2、他の三カ所も、手順1を繰り返します。
- 3、巾木Bを手に取り、巾木Aの穴位置に巾木Bのピンを差し込んでください。このとき、巾木Aを少し持ち上げながら、巾木Bのピンを差し込み、静かに元に戻します。（図4.2を参照）

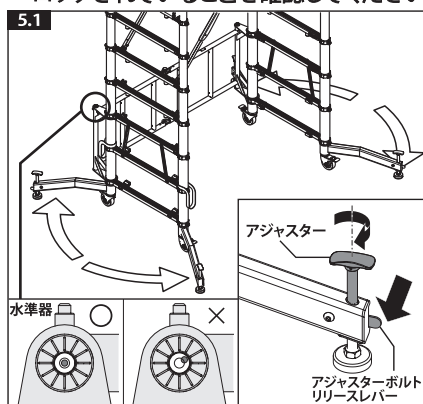


- 4、反対側も同様に取付けてください。

アウトリガーの展開

本体を作業する状態の高さに組立た後に、アウトリガーを展開します。

- 1、キャストブレーキレバーを押上げてロックを解除し、所定の位置（作業予定の位置）に移動します。
- 2、踏ざん9のアウトリガーロックレバー（赤）を内側へスライドさせながら、アウトリガーを必要な位置まで回転させます。スライドを止めて確実にロック（クリック音）がするまで回転させてください。（必要な位置でロックされるまで繰り返してください。（図5.1を参照）
- 3、キャストブレーキレバーを押下げてキャストをロックします。
- 4、滑り止め端具が設置面に接触するまでアジャスターボルトリリースレバーを押しながら、アジャスターを押下げます。微妙な隙間については設置面と滑り止め端具が安定するようにアジャスターを回して調整します。
- 5、本体を使用する前に、ゲート上端に取付けられた水準器にてタワーが水平であること、キャストとアウトリガーが確実にロックされていることを確認してください。



タワーの格納 (折りたたむ)

⚠ 警告 本体を折りたたむ前に踏ざん3から必ず作業床を取外してください。



強制

- 1、作業床を取付けるために使用している各ツールやアイテムを取外してください。
- 2、作業床から巾木を取外します。
- 3、22ページに記載されているように、作業床の下4本の筋交い材を収納してください。
- 4、踏ざん3の作業床を固定している2つのばね式の固定金具をゆるめて外してください。
- 5、慎重に作業床を本体から取外し、本体から離れた安全な場所に置いてください。

⚠ 警告 本体を折りたたむ時は、常に踏ざん7(踏ざんラベルの数字が大きい順)からロック機構を解除し格納してください。



強制

赤と黄色のレバーは、以下のように動きます。

- 踏ざん7のレバーを内側へスライドすることでロックが解除され、踏ざん6から上の部分を下方へ移動(格納)させることができます。
- 踏ざん6のレバーを内側へスライドすることでロックが解除され、踏ざん5から上の部分を下方へ移動(格納)させることができます。
- 踏ざん5のレバーを内側へスライドすることでロックが解除され、踏ざん4から上の部分を下方へ移動(格納)させることができます。
- 踏ざん4のレバーを内側へスライドすることでロックが解除され、踏ざん3から上の部分を下方へ移動(格納)させることができます。

●踏ざん3のレバーを内側へスライドすることでロックが解除され、踏ざん2から上の部分を下方へ移動(格納)させることができます。

●横手すり2のレバーを内側へスライドすることでロックが解除され、横手すり1から上の部分を下方へ移動(格納)させることができます。

⚠ 警告 同時に同じ踏ざんの左右にある2つの伸縮ロックレバーをスライドさせてロックを解除しないでください。



禁止

⚠ 警告 踏ざんの上に手や指を置かないでください。上から降りてきた踏ざんで指をはさむ恐れがあります。



禁止

タワーの格納 (折りたたむ)

●以下の手順は、作業床の高さを約2.00メートルに設定した本体を格納する場合の例です。

この手順については、他の高さに設定した本体を格納する場合にも適用されます。

手順1

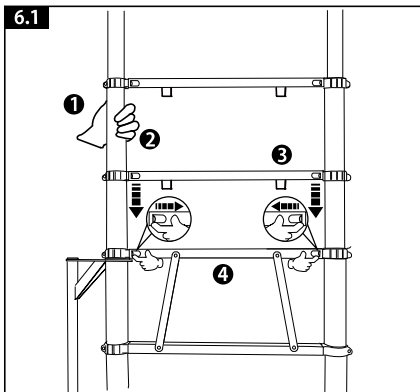
(a) 片手で左側のフレームを持ち、踏ざん6より上部分の形状を保った状態で踏ざん一段分を格納する準備をします。

(図6.1を参照してください。)

(b) 踏ざん7の内側に向かって右側のレバーを押しながらスライドさせて、レバーを離します。

(c) 踏ざん6より上部分の形状を保ちながら、次に踏ざん7の左側のレバーを内側に向かって押しながらスライドさせてレバーを離します。そして慎重に踏ざん6を踏ざん7の方向へ格納します。

(d) 右側フレームも上記 (a)~(b)の手順を繰り返します。



① 左手 ② 支柱を握って踏ざん5から上方を支える

③ 踏ざん6が下方へ移動

④ 伸縮ロックレバーを押しながら中央側へスライド

手順2

踏ざん5を格納するために手順1と同じ要領で、踏ざん6のレバーを離してください。

手順3

踏ざん4を格納するために手順1と同じ要領で、踏ざん5のレバーを離してください。

手順4

踏ざん3を格納するために手順1と同じ要領で、踏ざん4のレバーを離してください。

手順5

手すりを「手すりの取付け(16ページ)」の逆手順で収納します。

手順6

横手すり2を格納するために手順1と同じ要領で、踏ざん3のレバーを離してください。

手順7

ここからは「手すりの組立」の逆手順になります。

(a) 片手で左側のフレームを持ち、横手すり1を保った状態で踏ざん一段分を格納する準備をします。

(b) 横手すり2の右側のレバーを内側に向かって押しながらスライドさせて、レバーを離します。

(c) 横手すり1を押さえながら、横手すり2の左側のレバーを内側に向かって押しながらスライドさせてレバーを離します。そして慎重に横手すり1を横手すり2へ格納します。

(d) 右側フレームも上記 (a)~(c)の手順を繰り返します。サイドフレームが全て格納されました。

手順8

ゲートの中央にある赤色のゲートロックボタンを上から押し込むとロックが解除され折りたたむことが可能になりますので、ゲートを折りたたんでください。

手順9

「本体の組立(14ページ)」の逆手順で付属品等を本体へ収納します。

ピカ コーポレーション

〒577-0013 大阪府東大阪市長田中4-4-10

ナビダイヤル 0570-064065 (土日・祝祭日を除く9:00～17:00まで)

■ホームページアドレス <https://www.pica-corp.jp>

※この取扱説明書の無断転用を禁じます。

P25.11

762970001542